

## 積み荷の固定が不十分だった 積み荷崩れ即死 運転手らに賠償命令

2014年12月24日(水)20時41分

東日本大震災直後に宮城県の県道でトレーラーの積み荷が対向車線の乗用車の上に落下して男性(当時60歳)が死亡したのは、積み荷の固定が不十分だったためとして、遺族が男性運転手と勤務先の運送会社を相手取り約5000万円の損害賠償を求めた訴訟の判決で、仙台地裁は24日、運転手と会社側に計約4000万円の支払いを命じた。震災時の死亡事故に関して、過失責任が認定されるのは異例だ。判決は、過積載や固定が不十分だった点を認定し「**運転手の注意義務違反は重大**」と指摘。一方で「未曾有の大地震の中で起きた事故」として慰謝料を減額した判決によると、男性は地震直後に片側1車線の橋の上で停車。対向車線にとまったトレーラー荷台から長さ約10メートルのコンクリート製の7本が落下し、乗用車が押しつぶされ即死した。運転手は積載に不備があったとして道路法違反で1月に罰金10万円が確定。会社側は過失を認め、慰謝料の額のみ争っていた遺族側代理人の弁護士は「震災時の事故でも全てが不可抗力ではなく、**人災もある**ということを真正面から認めてもらった」と評価した。

### ◆スリップ事故注意◆

峠・橋の上・日陰・トンネルの出入り口 交差点手前、滑って交差点内で衝突！注意

**荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！**  
夕方からの積卸作業時は、ヘルメット・ライトを使用すること

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

追突、玉突き事故を防ぐ  
交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

## 坂道に駐車していたトラックが滑走 凍結路面でスリップ 運転者が挟まれて重体

2014/12/25 愛知県警察本部 特別編集

18日午前9時ごろ、愛知県の市道で、路上駐車していたトラックが無人のまま滑走。これを止めようとした運転者の男性が押し出され、車両と民家ガレージの柱の間に挟まれる事故が起きた。男性は意識不明の重体となっている。トラックは坂道に路上駐車していたが、無人状態で滑走を開始。トラックは駆動輪である後輪にチェーンを装着。サイドブレーキは掛かった状態だったが、現場付近の路面は完全凍結して滑りやすい状態だった。警察ではトラックが凍結路面でスリップしたものとみて、事故発生の経緯を詳しく調べている。

## Uターン、衝突事故、突っ込み民家の84歳死亡

2014年12月25日(木)21時21分

25日午後4時20分ごろ、京都市で、大学生の男性(21)の軽乗用車が道路脇の民家に突っ込んだ。玄関付近にいた住人の無職の男性(84)が軽乗用車にはねられ、約1時間後に搬送先の病院で死亡した。警察によると、軽乗用車がUターンしようとした際、会社員の男性(40)のワゴン車と衝突し、弾みで民家に突っ込んだという。

## 車から降りて転倒、後ろからの車にひかれ死亡

2014年12月25日 17:06

25日午前9時ごろ、愛知県の病院の正面玄関前で、診察を受けに来た女性(79)が夫(79)の運転する車から降りて病院に入ろうとしたところ、後ろから来た車に衝突しました。女性はその後、出血性ショックにより死亡しました。警察によりますと、女性は車を降りた直後に何らかの理由で転倒し、そのままひかれたとみられています。